



内閣府

令和2年6月9日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

「わった～バス大実験 2019」結果について ～ 国道58号では渋滞長が7割以上減りました～

沖縄県では移動手段の約9割が自家用車に依存しており、朝夕ピークの交通渋滞も顕在化しています。

そこで県民意識をマイカー利用から公共交通機関利用へ変えるべく、平成29年度から毎年「わった～バス大実験」を実施しています。

3年目を迎えた令和元年度は、OKICA♥WARI（※）と連携し、公共交通利用のインセンティブとなるサービスの提供や、参加者の募集やアンケートの配布・回収をオンライン化することで効率化を目指しました。

今回は、令和元年度の実施状況について、交通状況の変化やアンケート結果についてお知らせ致します。

【実験の結果】

- 国道58号、330号の平均速度が**約6%向上**
- 国道58号（那覇市方面向け：下り）の渋滞長が**7割以上減少**
- 国道58号の一般車両（伊佐→久茂地）の**所要時間が改善**
- 国道58号を走る路線バス（伊佐→県庁北口）のダイヤからの**遅れ時間が改善**
- 公共交通に転換した人の**7割以上**が公共交通の所要時間に関して肯定的な意見

（※）OKICA♥WARIとは、公共交通を使って来店された方に対して、特典を提供しようという企画です。

【問い合わせ先】

内閣府 沖縄総合事務局 TEL098-866-0031(代)

開発建設部 道路建設課

課長 眞栄里 和也 (内:4211)

課長補佐 米須 俊彦 (内:4216)

ホームページ:<http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/>

実験の概要

実験に参加頂いた企業や事業所等の皆様が、ノーマイカー通勤や時差出勤などに取り組むことで「かしこいクルマの使い方」について考えて頂くとともに、道路渋滞の減少効果について検証を行うものです。

実験のねらい

- ・渋滞の要因は、通勤時間帯等を中心とする過度の交通集中です。
- ・実験に参加し新たな通勤手段を試すことで、一人一人がクルマの使い方を考えるきっかけとする取り組みです。

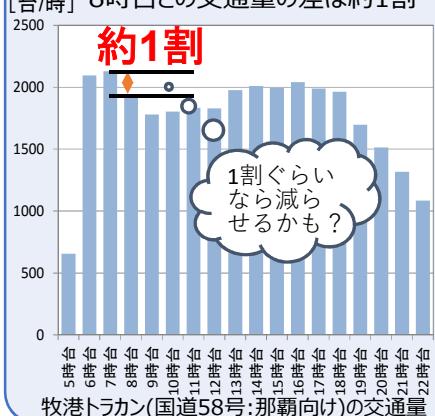
なぜ沖縄の道路は渋滞しているのか？

- ・通勤時間帯等の過度の交通集中



渋滞の削減は可能？

- ・渋滞の激しい7時台と空き始める8時台との交通量の差は約1割



1割ぐらいなら減らせるかも？

例えば、

- ・混雑する時間をずらして、通勤してみる。°°

試してみよう!!
早起きできるかな？本当に空いてる？

- ・モノレールや路線バス、自転車等で、自動車を使わずに通勤してみる。

試してみよう!!
職場まで行けるかな？バス停はどこ？

取組内容の例

OK 読書しながらバス・モノレール通勤

OK ラジオ体操に出かけるつもりで早朝出勤
(時差：早出)

OK たまにはやってみたい重役出勤
(時差：遅出)

OK 通勤途中に住む同僚をお迎えするあいのり通勤

OK 自宅で眠っている自転車を使った通勤



OK 職場の飲み会に併せてみんな揃ってバス・モノレール通勤などなど



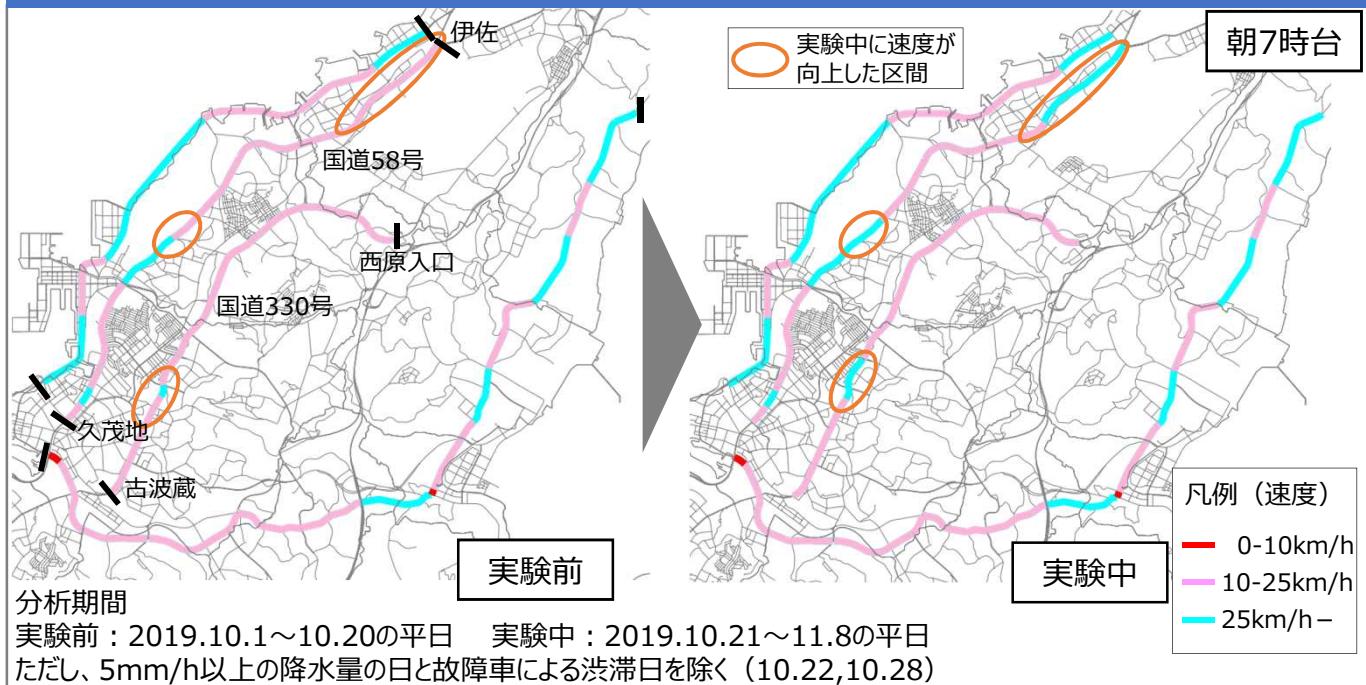
実験の結果

実験期間	令和元年10月21日（月）～11月8日（金）（19日間）
参加団体数	132団体
参加人数	約2,500人

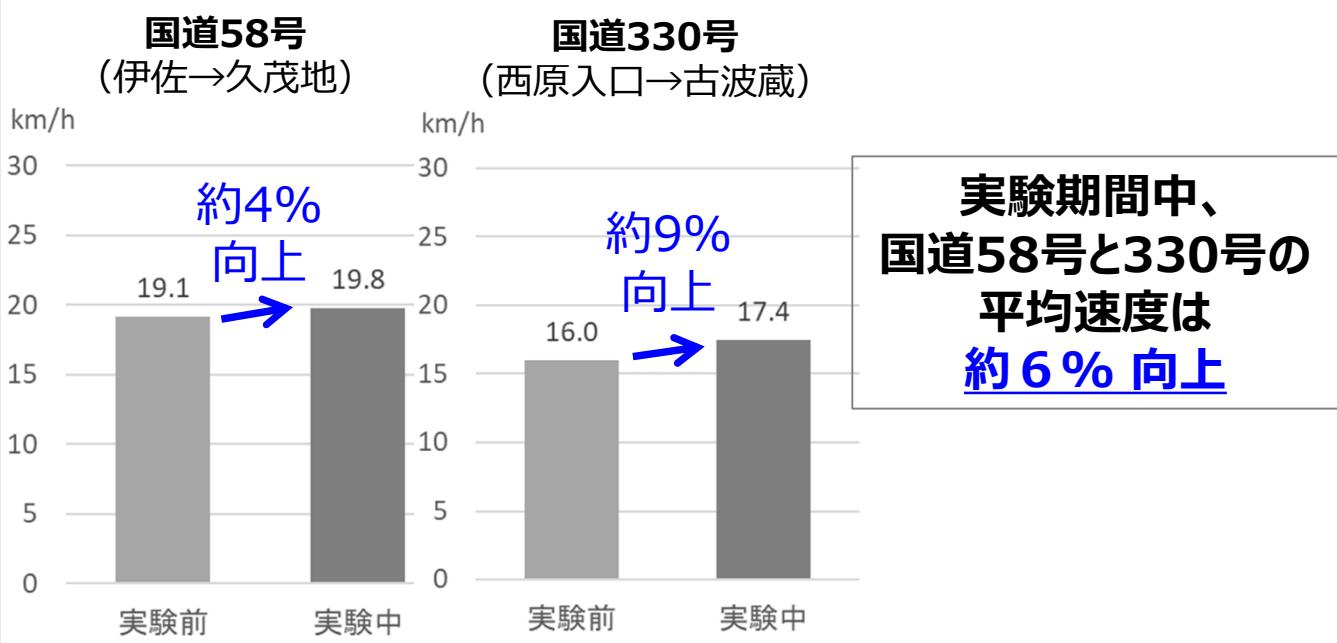
わった～バス大実験の効果

実験期間中、国道58号、330号において、主要な区間の平均速度が向上しました。

主要な路線の区間別平均速度（那覇市方面向け：下り）



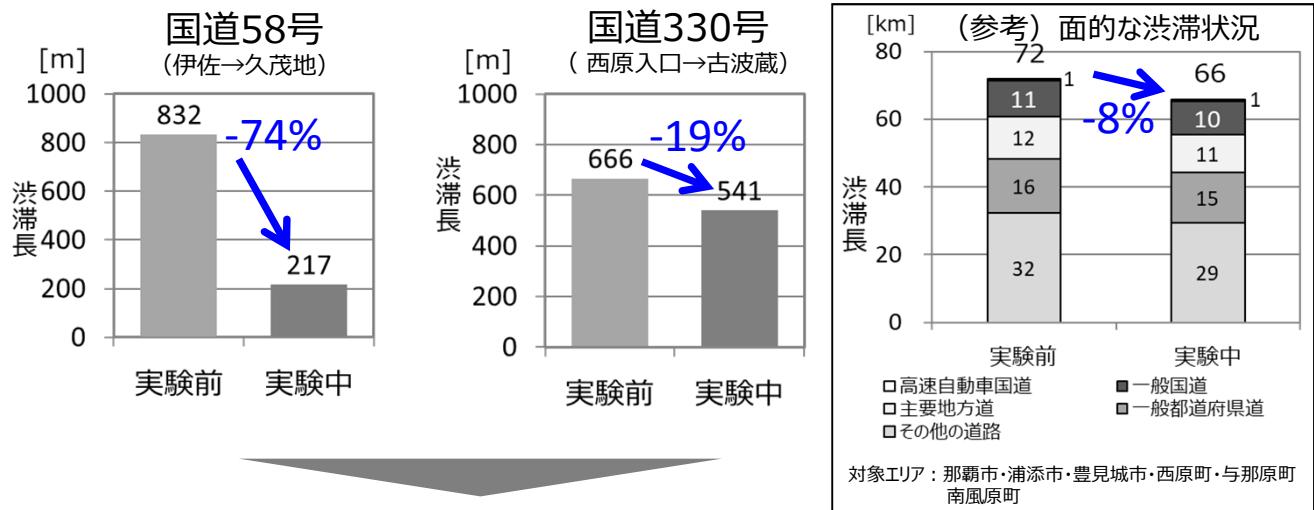
主要な路線の平均速度（那覇市方面向け：下り）



わった～バス大実験の効果

- ①通勤時間帯（7時台）の国道58号、330号の交通の流れがよくなり、渋滞長（10km/h未満の激しい渋滞の長さ）が減りました。
- ②通勤時間帯（7時台）の交通の流れがよくなり、その結果として交通量は増加しました。

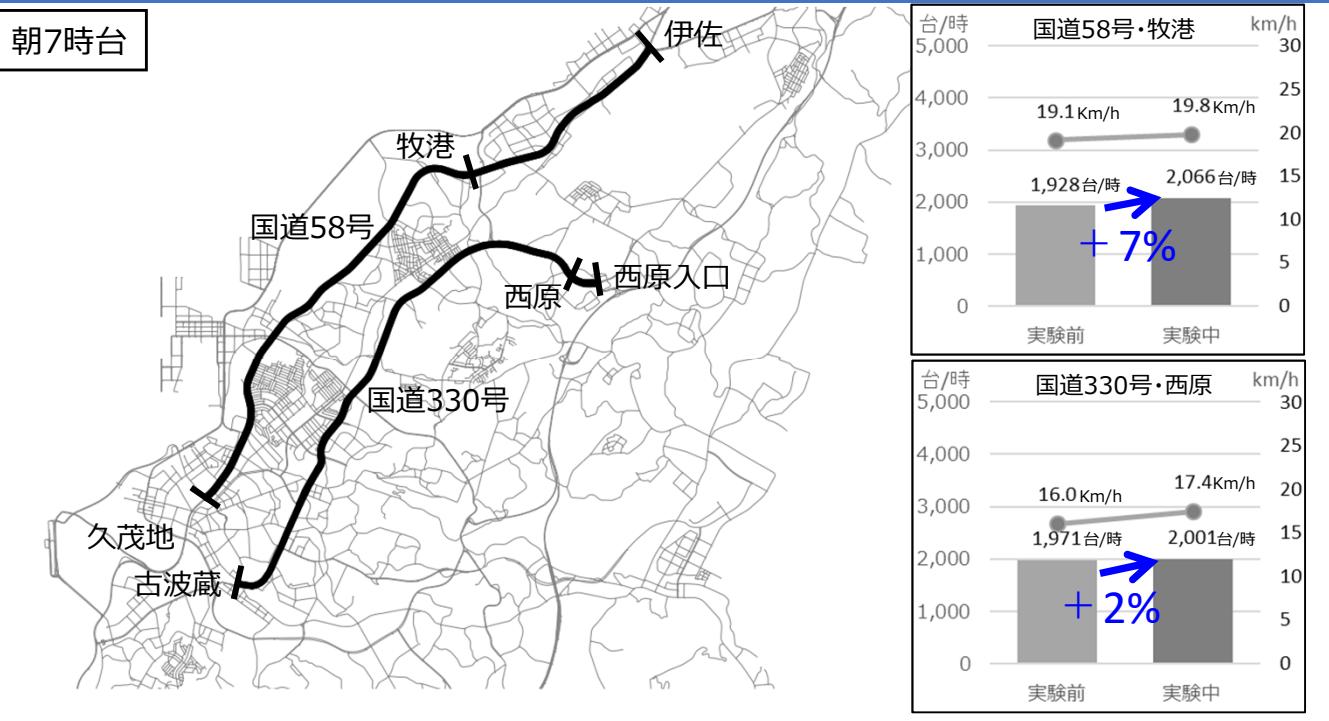
①路線別の渋滞の状況【那覇市方面向け：下り】



- 実験期間中の渋滞長は、**国道58号では約7割、国道330号は約2割減少**
- 幹線道路の渋滞長の減少に伴い、面的な渋滞長も8%減少**

【分析期間】実験前：2019.10.1～10.20の平日、実験中：2019.10.21～11.8の平日
ただし、5mm/h以上の降水量の日と故障車による渋滞日を除く（10.22,10.28）

②主要渋滞箇所の速度と交通量※【那覇市方面向け：下り】



わった～バス大実験の効果

①ピーク時の国道58号の所要時間※が約3分短縮しました。

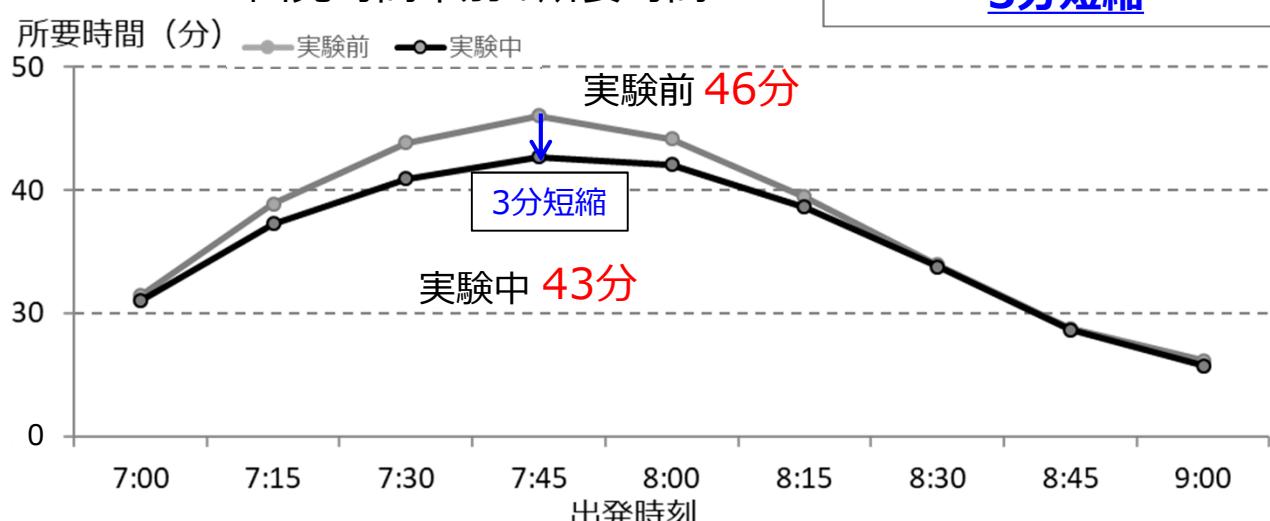
※伊佐から久茂地間

②ピーク時の路線バスのダイヤからの遅れが、平均で約2分短縮（約2割）しました。

①国道58号の所要時間（那覇市方面向け：下り）

国道58号（伊佐→久茂地）の
出発時間帯別の所要時間

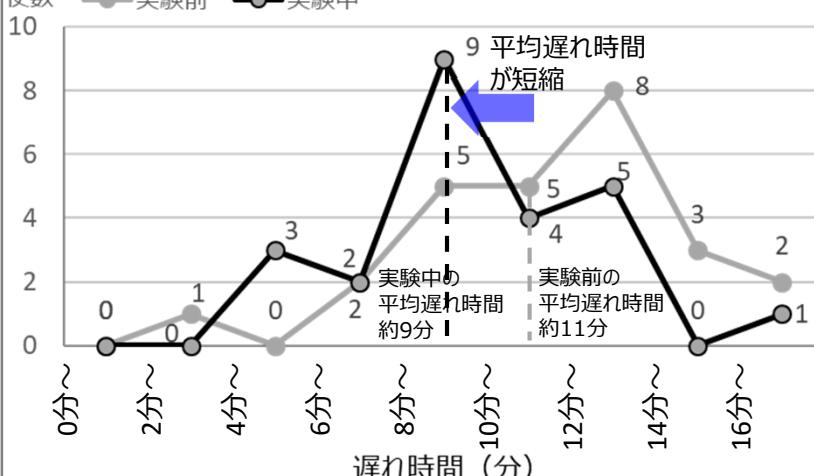
ピーク時の所要時間は
3分短縮



②バスの所要時間変化（那覇市方面向け：下り）

バスのダイヤからの遅れ時間

実験期間中は、ダイヤからの遅れ時間が小さい便が増加



- 実験前の平均遅れ時間（約11分）より遅れの少ない便の割合が50%から75%に増加（1.5倍増）
- 平均遅れ時間が、約11分から9分に約2分短縮（約2割短縮）

※分析期間：実験前：2019.10.1～10.20の平日 実験中：2019.10.21～11.8の平日

分析対象路線 77号系統（伊佐（7:16発便、7:43発便）→県庁北口（7:56着便、8:23着便）

サンプル数：実験前：26便 実験中：24便

ただし、5mm/h以上の降水量の日と故障車による渋滞日を除く（10.22,10.28）

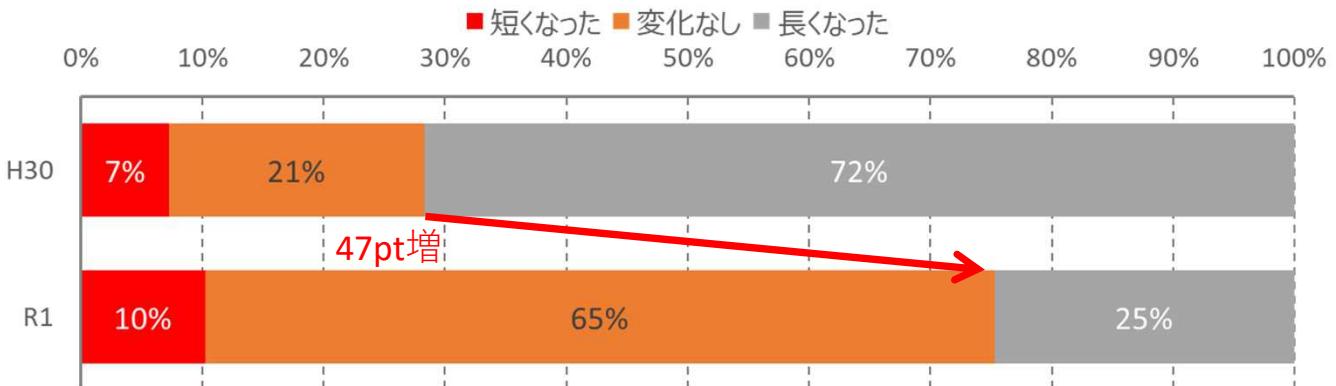
また、77号系統の基幹急行バスとしての運行は12月2日～のため、分析時点では基幹急行バスではないことに注意

バス・モノレールは実際に乗ってみると印象が変わります

- 実験期間中、自動車等から路線バスやモノレールに変えてみた人のうち、通勤時間が普段と比べて「短くなった」・「変化なし」と感じた人が約3割から7割以上に増加しました。

バスやモノレールは「意外と時間がかかるない」ことを実感したことを示す結果です。

■自動車等から公共交通（路線バス・ゆいレール）に転換した人の所要時間の変化

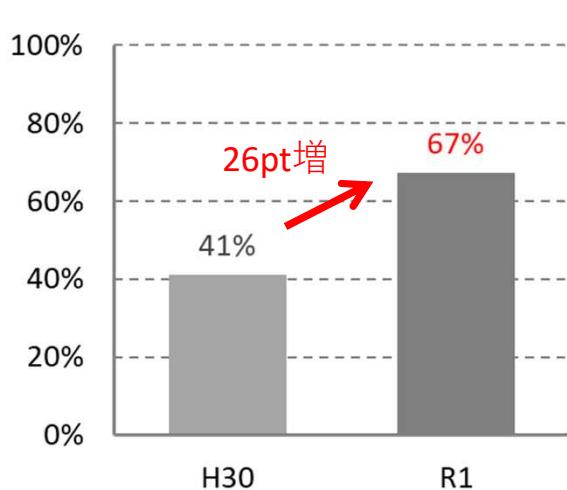


バス・モノレールでも通勤できる人が増加しました

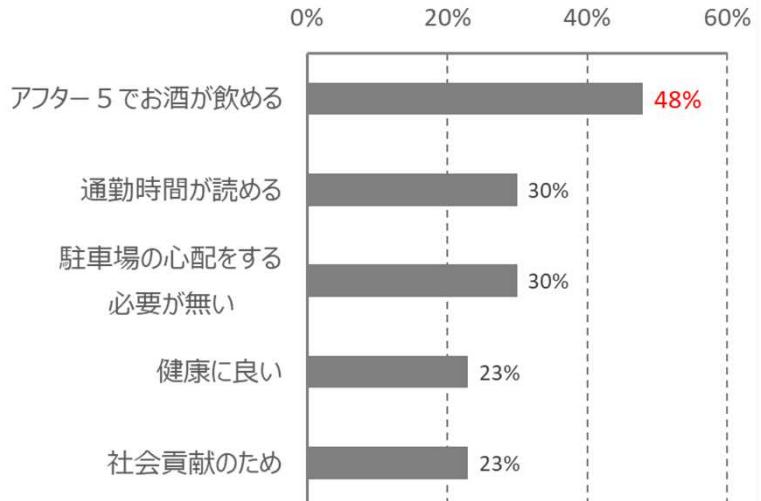
- 実験中、バスやモノレールで通勤した人の6割以上が、実験後も、「いつもの自動車通勤ではなく、たまには路線バスやゆいレールで通勤してみよう」と考えるようになりました。
- 公共交通で通勤することの魅力として、「アフター5でお酒が飲める」を挙げる方が最も多く、また、「通勤時間が読める」、「駐車場の心配をする必要が無い」を挙げる人も多く見られました。

■自動車等から路線バス・ゆいレールへ転換した人の実験終了約3か月後の取組み状況

実験終了後も実験中の取組みを継続している人の割合



実験終了後も実験中の取組みを継続している人の理由（上位5位まで）



新たな取組み

OKICA♡WARIとの連携

OKICA♡WARIとは 公共交通を使って対象店舗に行くとサービスが受けられる仕組み。

車で行くより早くおトクだと思ってもらうことで、渋滞緩和と駐車場問題を解消することを目的として実施。

<OKICA♡WARIの流れ>



バス・モノレール乗車



店舗へ



端末にOKICAをタッチ



特典！

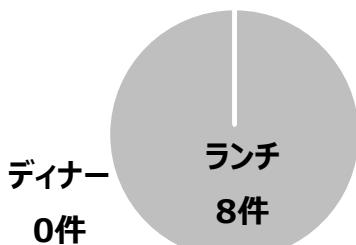
①実験期間中のOKICA♡WARI活用実績

・実験期間中31店舗中12店舗にてOKICA♡WARIが活用。

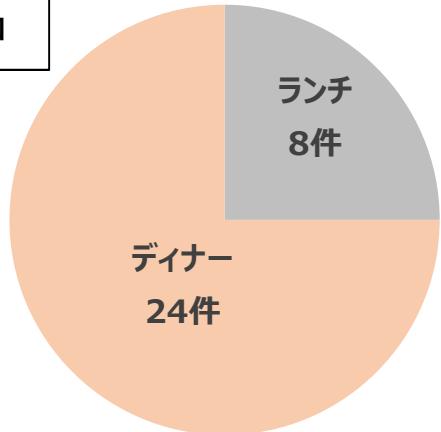
・ディナーでの利用が約7割、ランチでの利用が約3割。

⇒通勤手段を公共交通に転換させたことでアフター5を有効活用！

実験前



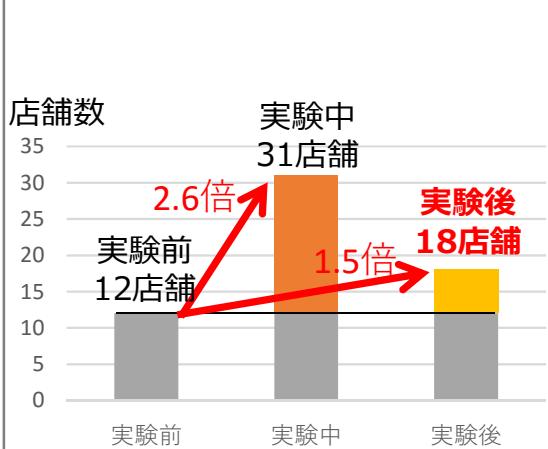
実験中



【分析期間】実験前：2019.9.1～10.20の平日、実験中：2019.10.21～11.8の平日

②OKICA♡WARIの実施店舗が増加しました

・ OKICA♡WARI提携店舗数が、実験中は2.6倍に増加、実験後も18店舗が継続
⇒公共交通を利用するインセンティブが増加



OKICA♡WARIサービスの継続実施店舗(6店舗)※

業種	店舗名	サービス内容
カフェ	春々堂 w i t h やぶさち	コラーゲンたっぷりカメゼリー半額 ※OKICA提示及び当日の乗降履歴確認
居酒屋	トリムフーズ (鬼さん 久茂地店)	飲み放題or飲み食べ放題 2時間→3時間
ファースト フード	TSUTAYA (SUBWAY首里店)	サンドイッチの値引き（50円） ※バスかモノレールの利用者
カフェ	TSUTAYA (Ts style coffee首里店)	ドリンクの値引き（50円） ※バスかモノレールの利用者
ファースト フード	TSUTAYA (SUBWAY那覇新都心店)	サンドイッチの値引き（50円） ※バスかモノレールの利用者
カフェ	TSUTAYA(Ts style coffee那覇新都心店)	ドリンクの値引き（50円） ※バスかモノレールの利用者

※2020年3月時点